

ほつと連携

第16号
2011

平成23年2月14日
発行

◆発行／北見赤十字病院地域医療連携室 北見市北6条東2丁目1番 ◆発行責任者／吉田 茂夫
http://kitami.jrc.or.jp E-mail : renkei@kitami.jrc.or.jp



新年あけましておめでとうございます。平成23年の新春を迎え、当院と地域連携を行なつたうておられます各医療機関の皆様、地域の方々、並びに職員の皆様、新年のご挨拶を申しあげます。

3年前の私の赴任以来「人に優しく、近代的な病院」を造ることを職員の方々と一緒に目指してきましたが、最近とおり外部の方から「田赤病院は明るくなりましたね」と仰られるようになりました。又「病院の風通しが良くなつた」と職員の方から聞くことも多々あるようになります。それらの結果は私にとって、「人に優しく」組織になつてきているあかしとして、励ましどなっています。

昨年を振り返ってみますと当院では、本当に多くの出来事がありました。まず第一に、地域の皆様の「支援のもと、二つの大きな事業に着手する」ことが出来ました。一つは北緯圏地域医療再生計画における当院の受け持ち事業の一つとして、札幌医科大学に「オホーツク医療環境研究講座」の開設と、当院に「オホーツク医療環境研究会」を設置いたしました。その目的は地域医療を担う総合内科医師、並びに専門・認定看護師の養成とオホーツク医療環境研究会の向上を図ることです。更に、北緯圏における、がんや脳卒中等の4大疾患統計のデータベースを構築し地域の保健予防活動への活用を図る事業も含まれております。その他、基金事業として、「周産期対応のドクターカーの整備」「透析画像診断等の情報連携の強化」も地域医療機関との連携

新年挨拶

吉田 茂夫 病院長

二つ目は新病院建設です。昨年5月本社からの病院建設の承認を得て以降、「近代的病院」塑のを目標し、院内で優しく100%を達成。更に地域住民の方々に安心と信頼されるより張り病院づくりを目的に「北見赤十字病院」こんな病院にしたらプロジェクト実行委員会」が古屋医師会長先生を委員長に、様々なお立場の方20名からなる委員会が発足いたしました。この委員会では、広く地域の皆様から意見、ご要望をいただき、その後、新病院の設計・運営等「」意見をいただくことになっております。新病院の建設は24年度に着工し、平成26年3月に新館、平成26年12月に新南館のオープンの予定です。時間と予算に限りがある中で今年は更に密度の濃い話し合いをする年となります。

少子高齢化・長引く不況・公共事業の削減等、地方の厳しさが年々増しておりますが、新しく迎える年は卯年、跳ねるうさぎのイメージのとおり、地域で取り組みます。これらの事業が本格的に飛躍する年となることを期待しております。どちらも、将来のオホーツク圏域にとって重要な事業であるため、昨年末に北見市夜間急病センター開設準備会議が設立され、現在活動中であります。このようになった経緯について、北見医師会としては大変感慨であると感じております(資料1・2)が、当事者の真摯な反省と市民に対する親切丁寧な説明の行政機関の皆様の連携をいたたきながら取り組んでまいりますので、昨年に引き続き、今年も「理解」と「支援をお願い申し上げま



立春の候、皆様により、現時既で夜間急病センターに勤務可能な協力医師は、北見赤十字病院医師で23名(23%)、開業医師関係で19名(30%)となりております。協力していただける先生方(吉田北見赤十字病院長も不肖私も入っていますが)には、心から敬意と感謝を申し上げます。

あだ、地域医療計画が施行され、4疾患策により日本全国に広がった医療崩壊の波は、昨年政権交代した民主党政権下でも止めようがないのが現状であります。北見地域においても、医師不足(特に専門医)は散発的とはい、深刻な問題になつてあり、地域完結の医療は限られた病気にもかかっていません。いまこそ、限られた医療資源を有効活用するためには、公的・準公的病院、一次病院および診療所が強い連携の下で、お互いの立場を尊重し、互助の気持ちで診療しなければ、市民の安心や安全を確保することができないと考えます。

今年の大きな課題の一つは北見市夜間急病センターの設立であります。平成20年内科医の大量退職を要因として、北見赤十字病院の委託・運営が立ちいかなくなつたため、新たに夜間急病センターを開設しなければならなくなりました。そのため、多少時間がかかりましたが多くの関係者の努力により、昨年末に北見市夜間急病センター開設準備会議が設立され、現在活動中であります。このようになった経緯について、北見医師会としては大変感慨であると感じております(資料1・2)が、当事者の真摯な反省と市民に対する親切丁寧な説明の行政機関の皆様の連携をいたたきながら取り組んでまいりますので、昨年に引き続き、今年も「理解」と「支援をお願い申し上げま

『医療連携の充実を目指して』

北見医師会長 古屋聖兒

資料1) 「北見市夜間急病センターについて」

北見医師会理事会通信55号
資料2) 「北見市夜間急病センターに係る北見医師会の責務にたいする北見市の方針について」

院長：藤江 穎二

診療科：内科、消化器内科、糖尿病・代謝内科、
呼吸器内科、アレルギー科、循環器内科

出身大学名：秋田大学医学部（S54年）

出身地：北海道沼田町

所属学会・資格：日本血液学会・糖尿病学会・
血栓止血学会・内科学会
血液専門医 専門分野：血液内科

趣味：音楽鑑賞 座右の銘：一期一会

これだけは譲れない「こだわり」：開業までの25年間続けた勤務医
としての診療姿勢

特技：血液塗抹標本の作製

《自院紹介》

私は平成元年6月から14年あまり北見赤十字病院に勤務した後、平成15年10月に藤女子高校前に内科クリニックを開院しております。北見赤十字病院様には患者様の紹介あるいは逆紹介、画像検査の依頼などで多大なるお世話をいただきしております。

患者本位で効率的かつ正確な診療をめざして開院当初から電子カルテとそれに連動する検査ファイリングシステムを導入し、血液検査、心電図、レントゲン写真、エコー検査、上部消化管内視鏡検査を一元的に管理してきました。受診した日に結果の説明ができるよう末梢血、血糖、HbA1c、CRP、血液生化学などの院内検査機器の充実と、これらをオンラインで自動的に入力できるようにシステムの改良を重ねてきております。CD-ROMでいただいたCTやMRIのDICOMデータを当院のサーバーに移して管理しておりますので、実施したすべての検査、説明書などが患者毎に一覧表示でき、瞬時に目的の検査の結果を表示して説明できます。3台の看護師用PCを用意しておりますので、患者様がいらしたら即座にアプローチして診療開始でき多数の患者様を効率よく診療できます。

連携という面では、当院からの紹介時はアナログの情報提供となっており、電子化データは当院の閉鎖されたネットワーク内で閲覧するのみです。今後貴院にて閲覧出来ることが可能となればより医師、看護師等のスタッフに利便であり最終的には患者様にとって有益なことと思われます。障壁は多々ありますが、実現することを目標にしたいと考えております。



藤江内科クリニック



〒090-0019
北見市三楽町134番地1
TEL (0157) 32-7303

〈診療のご案内〉

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	×
午後2:00~6:00	○	○	×	○	○	×	×



登録医紹介

院長：長谷川 岳尚

診療科：内科・皮膚科

病院のご紹介：日本医療機能評価機構認定病院、日本糖尿病学会認定教育施設、日本静脈経腸栄養学会・NST稼働施設、臨床研修協力施設

《自院紹介》

北見赤十字病院ならびに地域の先生方には日ごろお世話になり大変ありがとうございます。
厚くお礼を申し上げます。

置戸町は北見市より約30kmに位置する人口3400人の町です。当院は写真でご覧のとおり豊かな自然に囲まれた置戸町唯一の医療施設です。現在稼働中の診療科は内科と皮膚科で、入院施設は障害者一般病棟47床、医療療育病棟48床です。高度医療設備もありませんので、各専門科や重症患者さんの治療につきましては先生方のお力に頼らざるを得ず、いつもお手数をおかけしております。

置戸町は集落が広く点在しており公共交通の便も悪いため、特に高齢者では通院が困難なケースが増えております。当院では在宅療養の患者さんには往診を行っておりますが時間的制約がありどうしても病院近隣に限られてしまいます。その対策として町内の介護施設との情報を密にし、置戸町の行政機関および住民代表とともに「将来の地域に密着した医療と介護の提供方法」について模索しているところです。

当院は地域医療連携の中で
は距離的には離れております
が、質の高い医療を効率よく住
民に提供できるように努力す
る所存ですので、北見赤十字病
院ならびに地域の先生方には
今後ともよろしくご指導のほ
どをお願い申し上げます。



置戸赤十字病院



〒099-1100
置戸町字置戸77番地
TEL (0157) 52-3324

〈診療のご案内〉

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前8:15~11:30	○	○	○	○	○	×	×
午後1:00~4:30	○	○	○	○	○	×	×



皮膚科外來

皮膚科外来の紹介をさせていただきます。

現在、皮膚科常勤医2名で外来診療、入院診療にあたっております。皮膚科領域全般にわたり診療を行います。外来診療では紹介状の有無に関わらず診療します。また当科は、北見、網走、斜里医療圏では唯一の入院施設をもつ皮膚科です。病床数は4床ですが、入院が必要な場合には24時間対応いたします。

外来

ながら治療を行い、難治例に対しては入院治療を考慮しています。また、稀な疾患、尋常性天疱瘡、水疱性類天疱瘡などの水疱性疾患や全身性エリテマトーデスなどの膠原病及び皮膚腫瘍・血管炎群その類症の患者も診てあります。白斑（水虫）はあいふれた疾患ですが、当科が疫学調査施設に指定されており、鏡検による診断以外に原因菌の培養回定を行っています。脱毛症に関するトピックはライセンスに準じて接触免疫療法、外用、内服治療、紫外線治療などを実施しております。熱傷に関しては、「症状」より、当科もしくは形成外科で対応しております。

皮膚科部長 高橋一朗

病理組織診断を外部(大学など)へ委託していた時代を経て、その後現在までの20年弱(1994年以來、市立札幌病院病理部、北大第1病理・分子病理)は病理医の出張体制で、病理診断業務を担つてきました。北見赤十字病院では病理部として組織されていますが外来診療科としての病理診断科としては標榜していません。現在のところはこのままで役割を担うほうが現実的でしょうし、病理医が固定医として業務を担当できる状況となつた時点で両者することを考えます。

地域の基幹病院の皮膚科としての役割を常に意識しながら診療にあたっております。あるいは皮膚疾患、まれな皮膚疾患に限らず、患者様の社会的要因など求め対応に苦慮する場合には「相談ください」。

病理診断と 病理医の役割(仕事)

病理部長 神田 誠

病理診断と 病理医の役割(仕事)

病理部長
神田誠



- 病理組織診断を外部（大学など）へ委託していた時代を経て、その後現在までの20年弱（1994年）以来、市立札幌病院病理部、北大第1病理・分子病理）は病理医の出張体制で、病理診断業務を担つてきました。北見赤十字病院では病理部として組織されていますが、外来診療科としての病理診断科としては標榜していません。現在のところはこのまま役割を担うほうが現実的でしょうし、病理医が固定医として業務を担当できる状況となつた時点で再考することが考えます。

現時点では（2010年）北大分子病理・旭医大免疫病理からの出張医と、日本病理学会認定病理医の嘱託医と病理部副部長の2名の常勤病理医の体制で病理業務にあたっています。道内のいわゆる総合（大規模）病院としては恵まれた環境といえますが、オホーツク地域では当院しか病理医が勤務していないません。さらには、臨床科以上に病理医（付け加えるならば法医解剖従事者も）不足は目を覆いたくなる状況です。

さて、病理医の（診断）業務は：

(1) 病理解剖組織学的診断：

病理解剖診断およびそれに伴う病理組織診断：

(2) 病理組織診断：

(4) 術中の組織診断、細胞診断による臨床支援。センチネルリンパ節検索。

(5) 病理診断の説明：

① 入院・外来患者様に対応するセカンド・オピニオン的な役割をもつた理解を得るためにの解説・説明。臨床医との密な連携が重要となる。これを行っている病院は非常に少なく、日本で数ヶ所の病院。

② 病理組織診断におけるコンサルテイション：

外部専門領域病理医への委託、また（専門領域）病理医としての病理診断の受託、臨床医への説明と学術支援。

病理医の大まかな仕事（守備範囲）は以上ですが、最後に：

③ 遺伝子診断について：

生検材料、手術材料による遺伝子診断は、主として癌の標的治療に対して重要な情報となる時代に入っています。当北見赤十字病院では、病理検査に供した組織材料がパラフィン・ブロックとして全例が、ほぼ永久に保存されています。従って以前の標的治療のできなかつた時代の（癌）患者様に対しても条件

認定看護師

乳がん看護認定看護師
田邑 泰子

乳がん看護認定看護師の田邑泰子です。外科病棟や外来勤務を通して、乳がん患者様は手術療法・放射線療法・化学療法・内分泌療法など多岐にわたる治療を受け、それとともに乳頭喪失や乳房の変化・治療に伴う脱毛・リンパ浮腫などのボディーイメージの変化など多くの身体的・心理的・社会

的苦痛を体験していくことを実感してしまった。そのような患者様に必要なケアを提供するためにはもっと勉強が必要なわけです。千葉大学看護学部附属看護実践教育指揮センター認定看護師教育課程で半年間学び、認定看護師としての資格を取得しました。



小兒救急看護認定看護師 岡田 広子

小児救急看護認定看護師の岡田広子です。小児救急看護認定看護師と聞いて、救急看護認定看護師の小児版と想像される方がいます。が、小児救急看護では、子どもの疾患予防・事故予防・家庭での看護力の強化、児童虐待への対応にも重点を置いています。



つ機会がない場合は、お医者さん
にみて欲しいにつながります。

小児救急看護認定看護師の活動
として、子どもの発達段階に合わ
せた関わりだけでなく、事故予防
家庭での看護力強化のための指導
にも取り組んでいきたいと考えて
います。子どもやその家族につい
て、何かありましたら声をかけて
頂けるとうれしいです。

北見赤十字病院に勤めておりま
す、皮膚・排泄ケア認定看護師の
増田さおりです。

普段は病棟に所属しております
が、毎週『フットケア外来』を行
っております。フットケア外来は
平成21年8月に開設し、主に糖尿病
で感覚が鈍くなった足の状態の
評価と、巻き爪や足にタコやウオ
ノメ、水虫・潰瘍などのトラブル
を抱えている方や自分で爪を切る
ことが困難な方々などの診察・処
置を皮膚科医師と一緒に皮膚科外
来で行っています。フットケア外
来は毎週火曜日13時30分～17時
に完全予約制で行っています。

皮膚・排泄ケア認定看護師

A circular portrait of Dr. Yoko Kuroda, a woman with dark hair, wearing a light blue medical uniform with a stethoscope around her neck.

活動だけではなく、乳がんの早期発見に向けて、検診率を上げる」とができますように、地域の方々への啓蒙活動を考えています。

内科系3診療科オープンカンファレンス

～平成23年度より開始時間を18時30分に変更いたします～

●開催予定日表 (第3木曜日18時30分～1時間30分程)

	開催予定日	担当診療科
第1回	平成23年4月21日(木)	循環器内科
第2回	平成23年5月19日(木)	内科・総合診療科
第3回	平成23年6月16日(木)	内科・総合診療科
第4回	平成23年7月21日(木)	内科・総合診療科
第5回	平成23年9月15日(木)	消化器内科
第6回	平成23年10月20日(木)	循環器内科
第7回	平成23年11月17日(木)	内科・総合診療科
第8回	平成24年1月19日(木)	内科・総合診療科
第9回	平成24年2月16日(木)	内科・総合診療科

●平成22年度症例検討内容

	題名	発表者
第5回	「咽頭痛、四肢のこわばりとしびれを主訴に受診した症例」	内科・総合診療科 佐藤健夫
	「陣痛時の繰り返す意識消失発作」	看護師内科 勝山亮一
第6回	「気管支喘息の加療経過中に末梢血中好酸球数の著しい增多と手足のしびれ、筋力低下を呈した症例」	内科・総合診療科 野村尚志
	「尿膜管遺残感染の1例」	消化器内科 久保田良政
第7回	「喫煙を契機に急性呼吸不全を呈した一例」	内科・総合診療科 佐竹晃太
	「ポートカテーテル留置中の上肢深部静脈血栓症」	看護師内科 勝山亮一
第8回	「抗生素質の効かなかった発熱、咳嗽、リンパ節腫大の症例」	内科・総合診療科 那須野央
	「顔面、手指の皮疹、CK高値と胸部異常影を呈した一例」	内科・総合診療科 村木 功、佐藤健夫

※第8回まで終了しております。

●開催予定日表 (第3木曜日18時～1時間30分程)

	開 催 予 定 日	担 当 診 療 科
第9回	平成23年 2月17日(木)	消化器内科 内科・総合診療科

◎皆様のご参加をお待ちしております。

～新しい医師を紹介しま～す～

(平成22年8月～)



第二内科・総合診療科副部長
高橋 育克



消化器内科医師
一箭 珠貴



第三小児科部長
菅沼 隆



産婦人科医師
足立 清香



産婦人科医師
常松 梨紗



眼科医師
大野 晋治



麻酔科医師
大槻 郁人



検査部医師
木村 仁也

平成22-23年度

医療安全標語 決定!!

11月25日《良い医療に向かってGO!》をはさんだ1週間

厚労省では、毎年11月25日を挟んだ1週間を「医療安全週間」として、①医療の安全と質の向上 ②医療事故等の事例の原因究明に基づく再発防止策の徹底 ③患者・国民との情報共有と、患者・国民の主体的な参加の促進の3点を上げ、良質な医療の提供体制を、国民や医療機関等に呼びかけています。

そこで、当院でも毎年医療安全標語の募集を行い、皆様のご協力のもと今年で5年目を迎えました。前年度までの応募は大半が看護職の方でしたが、今年は多くの職種の方からの30作品の応募をいただきました。主催者としては喜ばしい限りです。

医療安全委員会及び医療安全対策部会による厳選なる審査の結果、「確認の 行動一つで 事故防ぐ」が最優秀賞に輝き、去る12月22日の病院大忘年会で表彰いたしました。一昨年より吉田病院長・荒川副院長・上野看護部長のご好意で各賞が設けられ、より多くの作品を表彰でき、関係者の意気も上がっております。この場を借りて御礼申し上げます。惜しくも僅差で各賞に選ばれなかった2作品の佳作もご紹介いたします。今年1年、医療安全標語をご活用いただき、現場の医療安全施策に役立てていただきたいと思います。

最優秀賞

確認の 行動一つで 事故防ぐ

病院長賞：患者安全 守るは“よし”の合い言葉

医療安全委員長賞：リクス感性 高めて 守る 尊い命

看護部長賞：不安なら 確認しよう 一聲かけて

佳 作：ダブルチェック 忙しいときほど 忘れずに

佳 作：わからないこと 見て 視て みよう 看るために



1年を振り返り、医療安全標語を考えてみては如何かな?
来年も募集するからね!!

外来受付のご案内

～受付時間～ { 午前 8:00～11:00 }
午後 1:00～3:00

○：受付しております
☆：紹介状が必要です
-：手術・検査等

*ご不明な点は受付にご相談下さい。 平成22年12月1日現在

曜日 科目	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科・総合診療科	☆	-	☆	-	☆	-	☆	-	☆	-
消化器内科	☆	-	☆	-	☆	-	☆	-	☆	-
循環器内科	☆	-	☆	-	☆	-	☆	-	☆	-
神経精神科	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
小児科	○	専門外来	○	専門外来	○	専門外来	○	1ヶ月健診 予防接種	○	専門外来
外科	○	-	○	-	○	専門外来	○	-	○	-
整形外科	☆	-	☆	-	☆	-	☆	-	☆	-
形成外科	-	○	-	-	-	○	○	-	-	○
脳神経外科	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
皮膚科	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-
泌尿器科	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
産婦人科	○	-	○	-	○	-	○	1ヶ月健診	○	-
眼科	○	○	○	-	-	-	○	-	○	○
頭頸部・耳鼻咽喉科	○	学童外来	○	-	○	-	-	-	○	学童外来
放射線科	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-
ペインクリニック	○	○	○	○	-	-	○	○	-	○
心療内科	完全予約制（受診希望の方は受付にご相談下さい。）									
麻酔科	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-

～ 診療時間は 8:30開始となっております。

診療科により異なりますので、ご了承願います～

専門外来、学童外来、1ヶ月健診、予防接種は、事前に予約が必要です。
土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12/29～1/3)・5月1日(日本赤十字社創立記念日)は休診いたします。

* 緊急時は内科・総合診療科、消化器内科、循環器内科、整形外科を含め、全ての科で対応させていただきます。

北見赤十字病院
TEL: (0157) 24-3115

外来ご案内

診療科目

- 内科・総合診療科
- 消化器内科
- 神経精神科
- 循環器内科
- 小児科
- 外科
- 整形外科
- 形成外科
- 脳神経外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 眼科
- 頭頸部・耳鼻咽喉科
- 放射線科
- 麻酔科
- ペインクリニック・心療内科

休診

- 土曜日 ●日曜日 ●祝日
- 12月29日～1月3日
- 5月1日（日本赤十字社創立記念日）

事前予約について

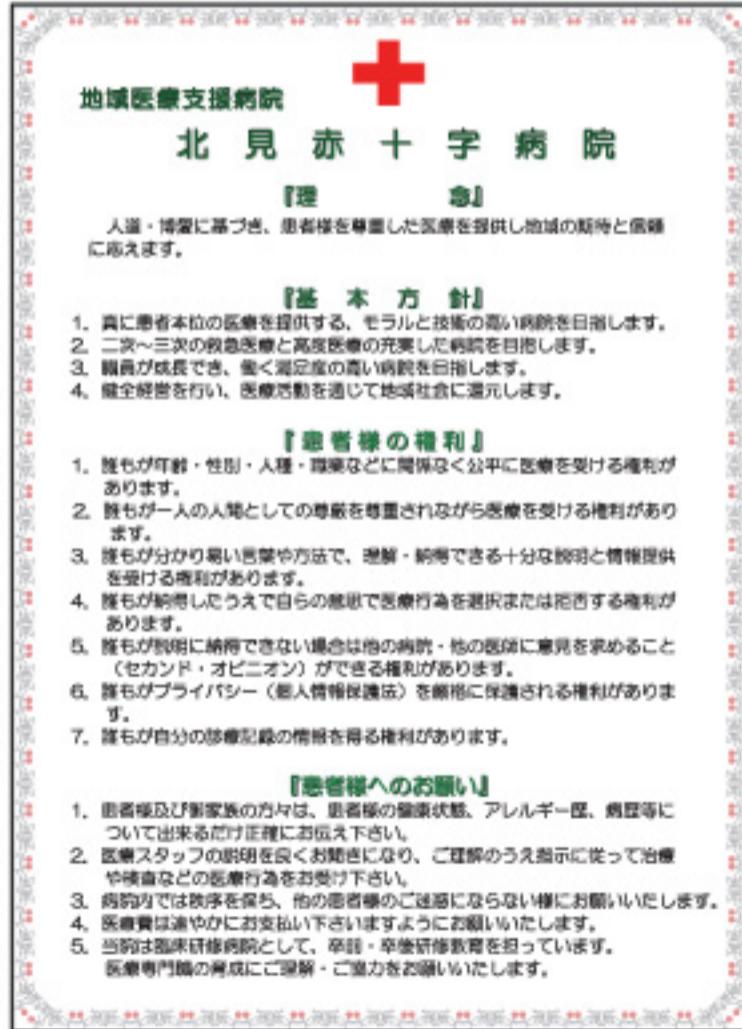
紹介状を持参される患者様につきましては、患者様の受診希望日時を事前にFAXにて予約診療のお申し込みいただきますと、診察当日、待ち時間が短縮されます。ぜひご利用願います。（但し、急患の場合は各科へ直接連絡願います。）

診察カード

診察券は全科共通で使用いたします。
ご来院時に必ずお持ち下さい。

保険証

健康保険証はご来院時に確認させていただいております。変更の際は必ずご提出下さい。



北見赤十字病院 診療一覧表

平成23年1月1日現在

※都合により担当医が変更になる場合があります。

診療科	月	火	水	木	金
内科・総合診療科	午前	田中 吉田(知) 高橋 大野	田中 #佐藤 高橋 永嶋	田中 #佐藤 吉田(茂) 大野	吉田(知) 高橋 大野
	午後				検査・予約診療・急患診療のみ
			#リウマチ・膠原病(佐藤)紹介患者予約は火・水・金になります。		
消化器内科	午前	柳原 上林 水島	牧山 常松 久保田	柳原 岩永 一筋	常松 岩永 水島
	午後				検査・予約診療・急患診療のみ
循環器内科	午前		齊藤 森本 勝山	齊藤 森本 勝山	齊藤 森本 野口
	午後				検査
神経精神科	午前	薮本 再来	有末 有末	有末 鳴田	鳴田 薮本/伊藤
	午後				予約・急患診療のみ
小児科	午前	三河 鳴神 齊田	菅沼 阿部 乳兒検診	三河 三河 高橋・伊藤	三河 三河 金田
	午後	特殊	村上 小出・菊地	須永 池田・山本	予防接種 1ヶ月健診
外科	午前	新患 再来	池田 菊地	北上 村上	菊地 村上
	午後	専門外来	内視鏡外科:北上		
					呼気器外科:新聞
整形外科	午前	曾原 #曾原 #森末 結城 (手術)	中川 中川 結城 柴田	#中川 #森末 結城 柴田	#曾原 #森末 中川 (手術)
	午後	予約検査・手術	3ヶ月児般脱 健診・手術	手術	手術
					#紹介患者専用
形成外科	午前	藤井 (予約のみ)	手術	大谷 (予約のみ)	藤井 大谷
	午後	藤井 大谷	手術	藤井 大谷	手術 予約検査
脳神経外科	午前	緊急診療	鈴木	鈴木	緊急診療
	午後				高杉 緊急診療のみ
皮膚科	午前	高橋 岩崎	高橋 岩崎	高橋 岩崎	高橋 岩崎
	午後	高橋 岩崎	手術	高橋 岩崎	手術
泌尿器科	午前	藤井 川上 佐々木	藤井 川上 佐々木	藤井 川上 佐々木	藤井 川上 佐々木
	午後	検査	手術	手術	手術
産婦人科	午前	足立英文 常松	水沼 東	足立英文 常松	水沼 東
	午後	産科	水沼 東	島野	足立英文 水沼 東
眼科	午前	大野 泉	菅原 大野	予約検査 手術	大野 泉
	午後	大野 泉	予約検査 手術	予約検査 手術	大野 泉
頭頸部・耳鼻咽喉科	午前	金井 和田 森合	和田 上村 森合	金井 上村 森合	金井 和田 上村
	午後	予約診療	手術	手術	予約診療・手術
放射線科	午前	有本	有本	有本	有本
	午後				急患診療のみ
ペインクリニック 心療内科	午前	ペインクリニック	ペインクリニック	心療内科	ペインクリニック
	午後	ペインクリニック	ペインクリニック	心療内科 (隔週休診) 緩和外来	ペインクリニック
麻酔科	午前(術前診察)	荒川	望月	佐藤	寺田
					大根

北見赤十字病院 地域医療連携室

受付時間：月曜日～金曜日 午前8:30～午後5:00迄
TEL0120-018-299 FAX0120-018-599

ご意見、ご要望がございましたら、地域医療連携室までお願いいたします。E-mail:renkei@kitami.jrc.or.jp